昭和59年　第906号
7月8日

市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 462,795(+586)
男 226,519(+357)
女 236,276(+229)
世帯数 150,331(+476)
59年5月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町
866
電話 (28)1000
編集 企画部広報課
印刷所 ㈱第一印刷所

社会復帰へウォーミングアップ

やわらぎ 和作業所で開所式

精神障害回復途上者のための通所作業訓練施設「和作業所」は、四月一日にオープンしましたが、訓練生が新しい環境に慣れた六月二十三日、関係者らが出席して喜びの開所式が行われました。この種の作業所は、市内では、心身障害者〝仁〟福祉センター（中木戸）、わかば作業所（寺山）に次ぐ三番目のものです。

精神障害者に希望の光

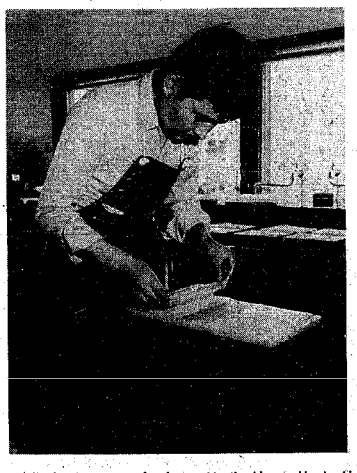
開所式で望月昇市保健環境部長らは「障害者の方々の一日も早い社会復帰を期待します」と激励しました。

これに対し、訓練生代表の西山幸一さん（五三）は「私たち社会復帰を希望する者にとって大きな喜びです。四月の入所時は、作業についていけるか、いつまで続けられるか不安でしたが、慣れるに従い、より良い製品を数多くという欲も出てきました。一日精いっぱい働けたという充実感は何ものにも代えがたい。苦しいときに悩みを素直に話せる仲間がいることも心強い」とお礼を述べました。

和作業所は、社会福祉法人更生慈仁会の全面的な支援を受けて、市精神障害者家族連合協議会が運営しているもので、場所は上新栄町の更生慈仁会の構内。木造平屋建ての建物も同会からの無償提供。同作業所は、回復途上者に対し、作業訓練の機会を与え、共同作業、話し合いを通じて自立と社会復帰を図ることを目的としています。

現在、二十代から五十代までの男女十五人が通っており、月曜日から金曜日までの午前九時から午後三時半まで、和紙づくり、雑音防止用のコイル巻き、肥料の袋詰め、ぬいぐるみ人形の縫製――などの作業を行っています。

同作業所に対し、今年度、県は百万円、市は六十万円の運営費を補助することにしています。


和紙づくりに熱心に取り組む和作業所の訓練生

登那木恒雄精神衛生相談員（西保健所）の話

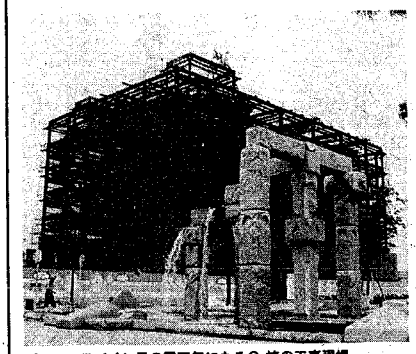
精神病は社会復帰が難しいと言われますが、きちんと通院し服薬すれば、かなり再発を防げます。

最近は、薬の進歩に伴い、地域で生活しながら治療する形に変わりました。市内でも、約四千人の精神障害者中、約七割が在宅者です。

在宅者の増加に伴い、病院から職場へ移行する途中の中間的施設の役割がクローズアップされてきました。共同作業所での軽作業や話し合いを通じて対人関係などが円滑になってから、社会に出ていくことが期待されています。

しかし、精神障害者を雇ってくれるところは、なかなかないですね。雇い主や障害者に一定額が支給される県の職親制度もあるんですが……。

病院から社会へ


スペイン風の雰囲気になるC1棟の工事現場

新しい街 姿を見せる

来年四月オープンを目指し、着々と建設が進んでいる駅南地区の再開発ビル（A_1、A_2、C_1の三棟）。世界地図を広げましょう。新潟を通る北緯三十七度線を西へ西へと目をやると、地中海のほぼ中央。「雪国新潟に明るいイメージを」と、A_1棟をギリシャ、A_2棟をイタリア、C_1棟をスペインに見立て、この三棟を地下道〝海の中の回廊〟で結びます。

地階から地上三階まで大きな吹き抜け空間のあるA_1棟。A_2棟は陽気な若者の街。家族づれで気軽にショッピングのできるC_1棟。休日には大勢の人でにぎわう楽しい〝語らいの場〟になることでしょう。

試行錯誤の17年

昭和四十二年から精神障害者を雇用している渡辺とくさん（新潟県基準寝具株式会社 社長）の話

新潟県基準寝具㈱で働く障害者たち

退院した人たちの就職がまならないのを見て、彼らの生活を保護し、社会保険で医療費を軽減してあげたい一心で、雇用しました。

現在、従業員五十五人中、精神障害者と精神薄弱者が三十八人、健常者が十七人。〝仁〟福祉センターからも実習に十六人が来ています。

自分は素人なので、ケースワーカーを雇い、指導をお願いしています。他社に紹介した障害者についても、ケースワーカーが、常時、会社と連絡をとっているので、紹介先でも安心しているようです。

うちでは、障害者たちを毎月一回、病院で検診させています。悪化したら、入院させ、回復したら復帰させています。仲間や仕事が待っていると思うと回復が早いですね。

障害者についての学習と試行錯誤の十七年でしたが、実践と理論が結びついてこそ、本当の福祉だと思います。

読者の皆さんへ 連載中の「新潟の自然」「民生委員を紹介」を休みます。

就職難が悩み

和作業所の指導をしている大杉祐一さん（新潟信愛病院 ケースワーカー）の話

作業だけでなく、生活指導、陶芸や絵など創造の喜びも取り入れていきたいと思っています。どなたか、週一回か月一回でも、ボランティアで陶芸や絵を教えて下さるとありがたいのですが……。

まもなく一人、ここを退所しますが、まだ就職先が決まっていません。これから巣立つ訓練生たちのためにも、彼らを理解して雇って下さる方が、一人でも増えてほしいですね。

なお、訓練生の作っている和紙（はがきや封筒など）や園芸肥料をご希望の方は、更生慈仁会（☎69―四〇〇一）へご連絡下さい。利益は、すべて訓練生に還元されます。

私の散歩道 ㊴

海の見える町

私は海が大好きです。家の都合で四歳のとき、東京から新潟へ引っ越して以来、ずうっと海の近くに住んでいます

ギラギラ光る真夏の太陽を浴びながら、存分に遊泳した幼い日々。ごうごうとすさまじい海鳴りを子守歌に安眠した冬の夜。海に関する想い出はつきません。

私の好きな散歩道もいきおいの海の見える道を選ぶことになります。西海岸公園の自転車道をすいすいと、自転車でひた走りに走ります。〝海の様子〟を観察しながら――。

梅田　千代（67歳、二葉町三）

電話案内

市役所	28―1000
教育委員会	25―1000
体育課	67―1834
火災の場所を知りたいとき	24―1111
市民病院	41―5151
園芸センター	86―1034
東保健所	43―5311
石山地区保健センター	86―4450
鳥屋野地区保健センター	85―2373
北地区保健センター	59―7332
西保健所	66―5171
西地区保健センター	62―3405
坂井輪地区保健センター	60―3255

きれいなまちづくり運動実行委員会
海岸クリーン作戦に参加しませんか！

新潟の海岸はこれから海水浴を楽しむ人たちでにぎわいます。いま海岸は空ビンや空缶などが目につきます。

「きれいなまちづくり運動実行委員会」では、清掃作業を通じて、きれいで安全な砂浜をとり戻すために、〝海岸クリーン作戦〟を実施します。

大勢の方々の参加をお待ちしています。

日時 7月15日午前10時～（雨天中止）
集合場所 栄小学校裏の西海岸公園内広場（実行委員会の旗が目印）
清掃区域 二葉・日和山・窪田町浜
持参品 軍手・ポリ袋、ごみはさみ
問い合わせ 事務局（清掃課内）へ
※当日の問い合わせは☎24―7214へ

鳥屋野潟浄化 意識調査にご協力を

七月十一日～二十四日までの間、鳥屋野・石山・曽野木地区などで千人を対象に「鳥屋野潟浄化に関する住民意識調査」を実施します。該当された人の自宅に調査員が直接伺いますので、ありのままのご意見をお聞かせ下さい。

問い合わせ 環境対策課（市役所六階）へ